



2026年5月15日

各 位

会社名 高田機工株式会社  
代表者名 取締役社長 中村達郎  
(コード番号: 5923 東証スタンダード)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 西尾和彦  
(TEL: 06-6649-5100)

## 「中期経営計画2024」の数値目標の修正に関するお知らせ

当社は、2026年5月15日開催の取締役会において、2024年5月10日に発表いたしました「中期経営計画2024」の数値目標を下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 数値目標の修正

(単位:百万円)

財務指標	修正前	修正後
	期間平均	期間平均
売上高	20,500	15,754
橋梁事業	14,500	11,295
鉄構事業	6,000	4,459
営業利益	1,000	5
橋梁事業	965	▲ 71
鉄構事業	35	76

計画期間:2025年3月期~2027年3月期

#### 2. 修正の理由

当社は2024年4月をスタートとする3ケ年の「中期経営計画2024」を策定いたしましたが、激変する外部環境への対応が遅れたことにより、橋梁事業の数値目標と実績値に大きな乖離が生じています。そのため、誠に遺憾ではありますが「中期経営計画2024」の数値目標を修正いたしました。

なお、今後いかなる経営環境であろうとも、持続的に成長可能な企業へと進化するために、次の10年に向けて会社のありたい姿を示す長期ビジョン「VISION2035」を策定し開示しております。

以 上

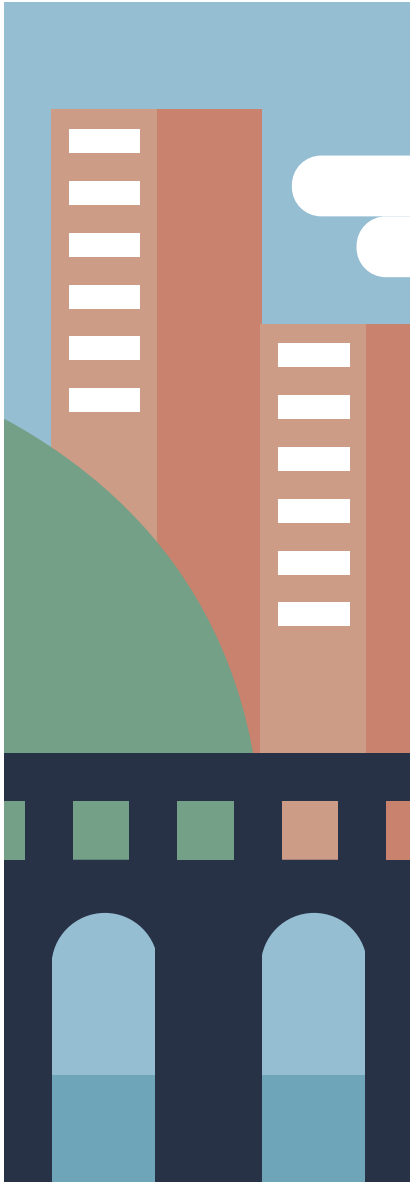
中期経営計画 2024  
数値目標の修正

# Change TKD

高田機工株式会社

2026年5月15日





<目次>

I	業績目標（修正）	・・・P.3
II	財務目標（修正）	・・・P.4
III	主要戦略および進捗状況	・・・P.5
IV	キャピタル・アロケーション	・・・P.6
V	株主還元方針	・・・P.7

# I 業績目標（修正）

## 【業績目標の修正について】

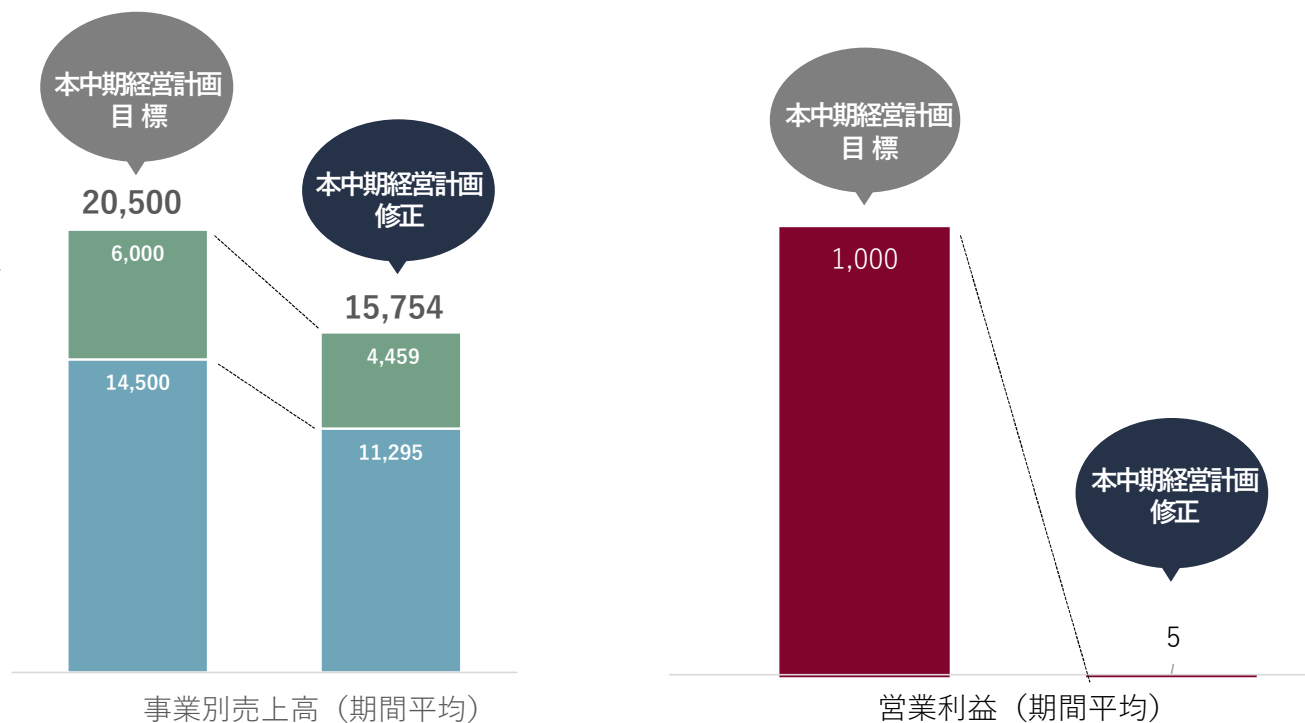
期間平均：2025年3月期～2027年3月期

- 既存主力事業領域を再選定し、経営資源を集中的投下による売上・営業利益の確保を図る
- 「設計・施工技術」の強味を活かした、新たな市場（維持修繕・更新）での足掛かりを図る

## 【事業別売上高・営業利益比較】

単位：百万円

■ 橋梁事業 ■ 鉄構事業 ■ 営業利益



## Ⅱ 財務目標（修正）

### 【財務目標の修正について】

単位：百万円

財務指標	修正前計画 (2025年3月期～ 2027年3月期)	2025年3月期実績	2026年3月期実績	2027年3月期計画	修正後計画 (2025年3月期～ 2027年3月期)
売上高	20,500	18,455	14,306	14,500	15,754
（橋梁事業）	14,500	13,026	10,618	10,240	11,295
（鉄構事業）	6,000	5,429	3,687	4,260	4,459
営業利益及び 営業損失（▲）	1,000	235	▲440	220	5
（橋梁事業）	965	119	▲451	118	▲71
（鉄構事業）	35	116	10	102	76
ROE（%）	5%以上（最終年度）			1%（最終年度）	

### Ⅲ 主要戦略および進捗状況

#### ① 事業ポートフォリオの高度化戦略

事業ポートフォリオの強化

市場ポートフォリオの強化

製品ポートフォリオの強化

#### 進捗状況

- 橋梁・鉄構市場の選択と集中 △
- スtock型事業への挑戦検討 △
- 維持修繕・更新市場の開拓 ○
- 生研トラス技術を活かした新たな市場領域への挑戦検討 △

#### ② 経営基盤戦略

生産部門の競争力強化

経営基盤の強化

#### 進捗状況

- ナレッジの標準化等 △
- ICT技術を活用した自動化検討 △
- 社内基幹システムの刷新 ○
- 組織体系・人材育成体系の見直し △

#### ③ サステナビリティ戦略

環境

社会

ガバナンス

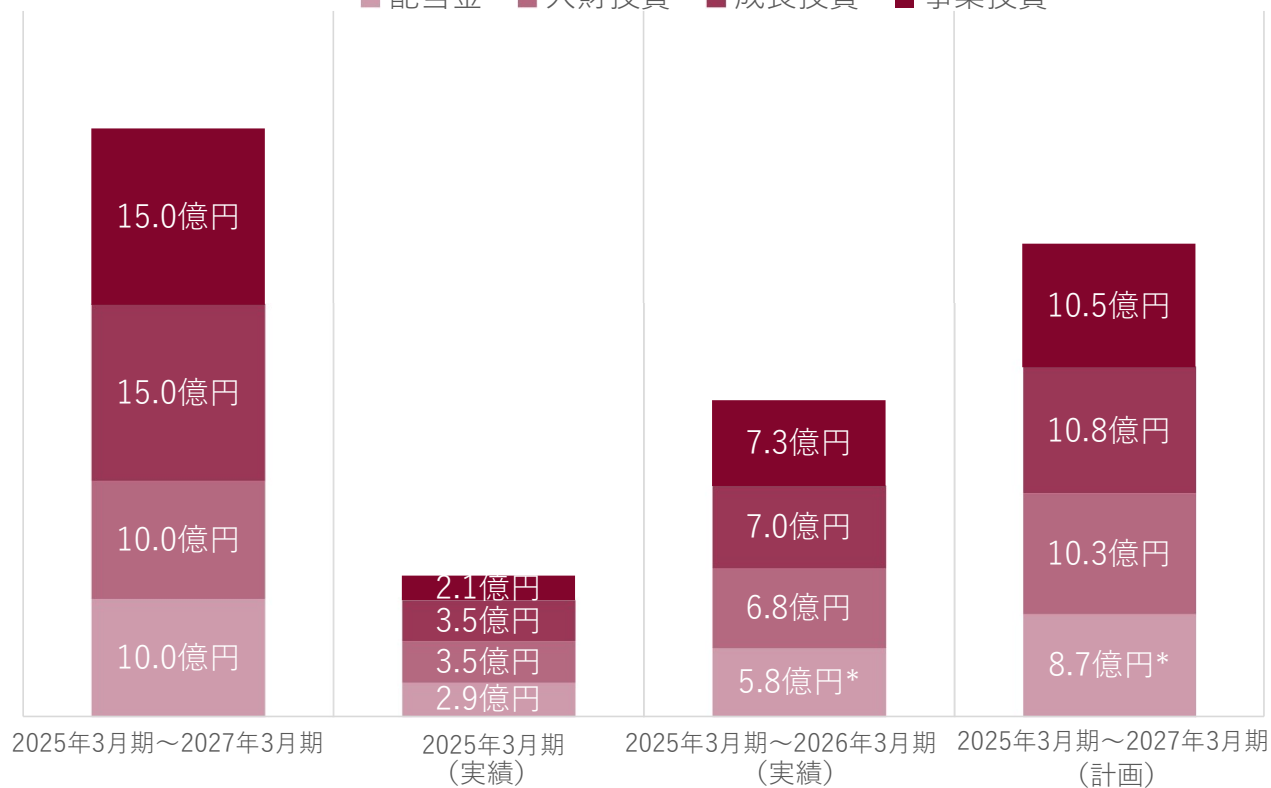
#### 進捗状況

- カーボンニュートラルの推進 ○
- 働きやすい職場環境の実現 △
- ガバナンス・コンプライアンスの強化 △
- 全社版BCPの策定 ○

# IV キャピタル・アロケーション

## 【キャピタル・アロケーション方針】

■ 配当金 ■ 人財投資 ■ 成長投資 ■ 事業投資



### 事業投資

(生産設備の更新、基幹システムの更新等)

### 成長投資

(事業ポートフォリオ強化、設備投資、M & A等)

### 人財投資

(人財の確保・育成、教育環境の整備等)

### 配当金

(配当性向50%以上)

\*2026年3月期及び2027年3月期の配当金は予定額

## V 株主還元方針

配当性向50%以上とし、安定配当を実現するため下限配当50円を設定する。

	2025年3月期実績	2026年3月期予定	2027年3月期計画
一株当たり 年間配当金額	50円	50円*	50円*
当期純利益及び 当期純損失 (▲)	3.43億円	▲5.35億円	2.20億円
配当性向	86.4%	—	132.5%

\*2026年3月期及び2027年3月期の配当金は予定額